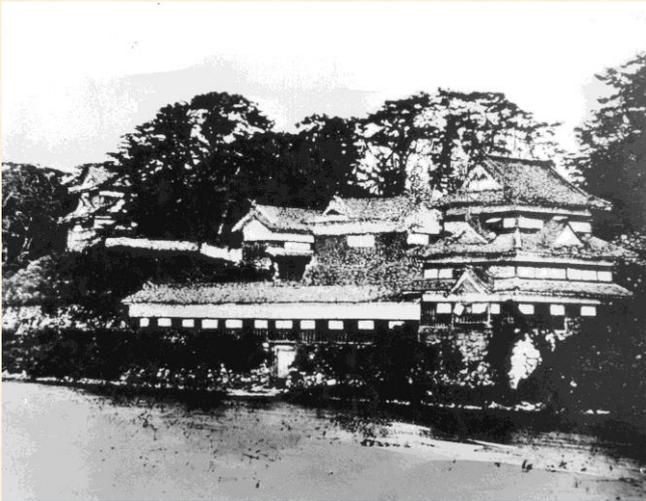


愛知県政 150 周年記念展

愛知県誕生 150 年

～豊橋県から愛知県へ～



吉田藩（豊橋藩）明治元年



愛知県庁（明治 10 年新築）

●開催期間
令和4年 10 月 15 日 (土)
～11 月 27 日 (日)
**●会 場 豊橋市中央図書館
2階展示コーナー**
●開館時間 【平日】 9 : 30～19 : 00
 【土・日・祝】 9 : 30～17 : 00

●休 館 日 毎週月曜日、10/28、11/25

入場無料


豊橋地方を治めていた吉田藩は、明治2（1869）年に豊橋藩と改称し、明治4（1871）年の廃藩置県によって、豊橋県となりました。やがて額田県に統合され、翌年11月27日に額田県は愛知県に合併。豊橋は愛知県に属しました。本展では、愛知県政150年を記念して、吉田藩が豊橋県となり、愛知県となるまでのようすを紹介します。

講座 11/3 (木・祝) 午後1時30分～2時30分
豊橋県から愛知県へ～当時の豊橋のようす～

講師：岩瀬彰利（当館主幹学芸員）

内容：明治時代の豊橋のようすを写真などで紹介します。

会場：中央図書館3階集会室

対象：どなたでも 定員：50人（先着順）

対談 11/27 (日) 午後1時30分～2時30分
**愛知県誕生、文明開化の第一歩と豊橋
—書物が育んだ郷土の近代化—**

出演：高須博久（株式会社豊川堂会長）・岡村龍男（当館学芸員）

内容：愛知県誕生の頃の出版と文明開化のようすを語ります。

会場：豊橋市中央図書館3階集会室

対象：どなたでも 定員：50人（先着順）

 申込み：豊橋市図書館ホームページ内イベント予約システムで
 （受付は10/15から、終了は講座10/30、対談11/13まで）

豊橋市中央図書館

〒441-8025 豊橋市羽根井町 48 TEL 0532-31-3131

 URL <http://www.library.toyohashi.aichi.jp>

豊橋の遊廓を考える

主催：豊橋市図書館・東海遊里史研究会



東田遊廓（大正～昭和初期）

開催趣旨 豊橋には江戸時代から札木町・上伝馬町に遊廓があり、明治になっても存続していた。明治後期になると、陸軍第十五師団の誘致に伴って遊廓は吾妻町へ移転・整備された。そして、戦後になると有楽町、東田仲の町に特飲街（赤線）が形成された。遊廓は、街の経済活動では陰の部分であるが、豊橋の街の発展に密接に関わっていたことは否定できない。

本フォーラムでは、豊橋の遊廓について一次資料などの客観的なデータを基にして変遷をたどり、その存在について考える。

日時：**11月12日**（土）午後2時～3時

会場：**豊橋市中央図書館 3階会議室**

対象：**どなたでも 定員：25名（先着順）**

申込み：豊橋市図書館ホームページ内イベント予約システムで
（受付は10/15から、終了11/6まで）

【日程】

- 14:00 発表 「豊橋遊廓の変遷史 ～戦前の遊廓、戦後の特飲街（赤線）」
発表者 畠野佳司（東海遊里史研究会）
- 14:30 対談 「豊橋の遊廓を考える」
出演者 畠野佳司（東海遊里史研究会）
岩瀬彰利（豊橋市図書館主幹学芸員）
- 15:00 終了



豊橋市中央図書館

〒441-8025 豊橋市羽根井町 48 TEL 0532-31-3131
URL <http://www.library.toyohashi.aichi.jp>